



三学期始業式にそれぞれの学年に向けて話をしました。担任も機会を見つけて「園長先生と約束をしたね」と話し、保護者の方の感想からも「家でも話をしました」とありました。子どもたちは、その後どのように過ごしているでしょう。

### はな組

「毎日元気に幼稚園に来て、いろいろなことができるようになりました。ほし組になるために、『自分の荷物を自分で持つ。歩いて幼稚園に来る』ことを頑張ってください。」



自分の荷物を持って歩いて登降園する姿が増えました。朝のあいさつを自分からする姿も見られます。また、給食の配膳は遊戯室で行い、保育室まで運んでいますが、配膳分を食べ終わり「お代わりをください」とごはんやおかず、野菜を遊戯室まで取りに来る人が増えました。ほし組やそら組に「すごーい」と言われ、拍手をされ、満足げに保育室に戻ります。意欲をもって行動している姿を認めて自信となるようにしていきたいです。

### ほし組

「そら組から刺激を受けていろいろなことをやってみようとするようになりました。時々「難しい」「できん」とあきらめる姿を見て残念だなと思います。少し難しいこと、初めてすることも『やってみよう』と挑戦してみてください。」



個人差はありますが、そら組がしているドッジボールに教師と一緒に参加し、ボールが欲しいとすぐ前で手を広げて待っている姿から当たらないように逃げる姿へと変化しています。また、できるようになりたいという思いをもち、あやとり、まりつき、投げごま、けん玉に『繰り返し』、『何度も』取り組む姿が見られます。裏返しになった制服を元に戻す、自分でボタンをとめることも、まずは自分でしようとしています。手伝うのは簡単ですが、子どもの力を伸ばすために、やってみようと思う環境をつくる、時間に余裕をもつ、励ます等をしていきたいと思います。

### そら組

「新しい遊びを考えたり、できるようになりたいことに何度も挑戦したりするようになりました。そら組のみなさんにもう少し頑張ってもらいたいと思うことは、『人の話を最後まで聞く』ことです。友達の話の途中でしゃべっていませんか。先生の話の途中で動き始めていませんか。最後まで聞くとうまくいくことがたくさんありますよ。」



店ごっこは気の合う友達グループではなく、くじで決めたグループで進めています。自分の考えを強く通そうとしたり、友達の話を聞いていなかったりする様子も見られます。教師が間に入り「〇〇ちゃんはどう思うの?」「じゃあ、このグループは～するってこと?」と言葉を補い、共通理解する場を大切にすることで、同じグループの友達を誘って準備をし、一緒にしようという気持ちが高まっています。私たち大人も、相手の話を最後まで聞くことは難しいです。子どもたちにこの力をつけてほしいので、園でも家庭でも『聞く』時間を大切にしましょう。

きりとせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。園長だより11 ( )組 園児名( )